

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2026年度 パフォーマンス向上会議情報(2026年7月2日(木)分)

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。当発電所では、社内の会議体(パフォーマンス向上会議)において「不適合」と判定したすべての事案を本ホームページで公表しています。

2026年7月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【出入監視作業における本人確認時の不備について】</p> <p>入退域管理棟における管理区域入域時の本人確認において、出入監視員が、受動型個人線量計を所持していない従事者を発見したが、当該従事者より現地で受動型個人線量計を着用するとの説明を受けたことから未着用での入域を許可。しかし、当該従事者の認識は誤りであり受動型個人線量計の着用は必要であることが別の出入監視員の指摘により判明。</p> <p>直ちに、当該従事者を退域させるとともに、線量評価を実施。</p> <p>なお、当該従事者については電子式線量計(警報付ポケット線量計)および許可証類の所持は確認済。</p> <p>今後、再発防止対策を検討する。</p>	G II	6月26日
2	<p>【放射線公開データ作成時における、検出下限値超え判定の誤りについて】</p> <p>当社社員が、放射線公開データ作成時に、2026年5月の空気中トリチウム濃度測定記録を作成する際、検出下限値超えの判定を誤っていることを発見。</p> <p>トリチウム濃度が記載された分析結果報告書から公開データ作成時に、検出下限値超えと判定すべきところを、検出下限値未満として誤って判定していた。</p> <p>過去の公開済データを確認したところ、2026年2、3、4月の公開データにおいても同様の誤りを確認。</p> <p>既に公開されているデータについては、内容の訂正を実施予定。</p> <p>今後、検出下限値超えについて、自動判定させると共に、再教育を実施する。</p>	G III	6月29日